

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業 建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

個13事01

政策名	3 夢のふくらむ港		23年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	企画調整室 計画担当課長
基本施策名	04 うるおいと魅力のある港湾空間の形成		事務事業	成果	コスト	連絡先 052-654-7911	事業期間 平成17~25年度 ※「その他特記事項」
個別施策名	13 人びとの交流の場を充実する		継続	拡大	拡大		
事務事業名	01 交流機能の施設配置計画の策定(港湾計画の策定)		事業期間				
目的	交流機能の施設配置計画を策定し、港湾計画に位置づけ、事業化につなげます。					根拠 法令等	港湾法第3条の3
概要	名古屋港における交流施設の現状分析を行い、他の施設計画との整合を取りながら、交流空間の更なる拡充に向けた施設配置を検討します。					実施 義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
24年度の実施予定	将来的な方針の策定、港湾計画への反映に向けた調整、関係者ヒアリング等、具体的な検討を実施する予定です。					関連 シート	



2 DO(実施)

24年度に実施した 内容・結果							備考(款項目、算出方法等)
コスト(年度)	単位	20(実績)	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績見込)	
事業費 計	千円	0	0	7,350	7,549	36,550	(款項目節) 歳出:企画調整費/調査費/企画調査費/委託料
一般会計	千円	0	0	7,350	7,549	36,550	(算出計算式)
事業会計	千円						
その他	千円						
人員費 計	千円	1,228	1,201	1,781	3,017	3,138	(その他) 事業費については、港湾計画改訂にかかる費用を 一式で計上しており、港湾計画の策定にかかる各 事務事業シートでは同額を計上しています。(環境 影響評価にかかるものを除く)
正規職員	人	0.14	0.14	0.21	0.35	0.36	
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計	千円	1,228	1,201	9,131	10,566	39,688	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	20	21	22	23	24	最終目標	25	備考(指標の算定方法など)	
港湾計画の策定手 続きの進捗状況(工 程)	目標	1.3	0.7	2.0	1.0	1.6	(累計)5		以下の変更手続きにおける実施工程 数を合計します。①基本計画の作成、 ②予測・検証、③委員会による合意形 成、④名古屋港審議会への諮問・答 申、⑤国の交通政策審議会への諮問・ 答申及び公示	
	実績	0.3	0.2	0.2	0.2	0.6				
	達成率(単年度%)	23.1	28.6	10.0	20.0	37.5				
	達成率(累計%)	26.0	30.0	34.0	38.0	50.0				
策定進捗率(%)	目標	26.0	14.0	40.0	20.0	32.0	(累計)100		港湾計画の策定手続きの実施 工程を把握することで事業の進 捗度をみます。進捗率は手続き の実施工程数÷予定工程数で 算出します。	
	実績	6.0	4.0	4.0	4.0	12.0				
	達成率(単年度%)	23.1	28.6	10.0	20.0	37.5				
	達成率(累計%)	26.0	30.0	34.0	38.0	50.0				
必要性・有効性・効率性の確認		判断理由 (課題の抽出)					その他特記事項			
必 要 性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □					※港湾計画の策定に ついては、東日本大 震災の影響により、 企業活動の将来動向 が不透明であること による貨物推計時期 の見極め、改訂作業 に考慮すべき事項と して港湾運営会社の 動向や国際産業ハブ 港としての方向性(長 期構想の見直し等) の整理が必要である ため、目標年度を23 年度から変更。(23年 度行政評価)			
	利用者のニーズは高いか?	<input type="checkbox"/> ○ × <input checked="" type="checkbox"/>								
	本組が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □								
有 効 性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □					予測・検証及び委員会による合意形成に向けた検討を進めているが、成果 目標には達していません。			
	目標を達成したか?	<input type="checkbox"/> ○ × <input checked="" type="checkbox"/>								
	個別施策へ貢献したか?	<input type="checkbox"/> ○ × <input checked="" type="checkbox"/>								
効 率 性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □					港湾計画の策定は港湾法により実施が義務付けられており、港湾管理者が 定めなければならないことから、実施主体として適正です。			
	受益者に適正に負担させているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □								
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □								

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による 今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続			環境変化に対応した港湾のマスタープランである港湾計画の改訂に向 けて着実に取り組むため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				
名古屋港基本計画検討委員会に提示した内容やパブリックコメントを踏まえ、港湾計画改訂に向けて、関係者との調整や具体的検討 を引続き実施していきます。				